

令和7年度 みどりっちプラン

(緑区区政運営方針)

基本理念：笑顔のあふれるまちをめざして

1 第2期緑区将来ビジョンについて	1
2 令和7年度取り組み内容	
施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり	3
施策2 地域・世代を超えてつながるまちづくり	7
施策3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり	9
施策4 暮らしの中で健康になれるまちづくり	14
施策5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり	16
区政運営の推進にあたって	18
参考	
各将来像に掲げる成果指標	19
令和7年度予算執行計画	20
令和6年度予算執行実績	21

このみどりっちプランは、「第2期緑区将来ビジョン」（計画期間：令和6～10年度）に基づき、毎年策定しています。緑区の現状や地域の課題をふまえ、行政サービスを向上し、区民生活の充実を図るため、令和7年度の区政の主な取り組みをお示しするものです。

また、緑区では、SDGs（※）の理念を踏まえながら、取り組みを進めていきます。

※SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略です。



名古屋市緑区役所

1 第2期緑区将来ビジョンについて

基本理念：笑顔のあふれるまちをめざして

将来像1 安心・安全で快適に暮らせるまち

防犯、防災、まちの美化、交通事故の防止等の活動に、多くの人が地域ぐるみで取り組んでいて、まち全体として、災害に強く、安心・安全で快適なまちになっています。

将来像2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

人と人との助け合いや交流により、子育てや健康づくりがしやすく、恵まれた自然環境を生かし、誰もが自分らしく心豊かに生活できるまちになっています。

将来像3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

区民一人ひとりが歴史文化や観光資源の魅力に対する誇りと愛着を感じながら、自らその発信の担い手となって、他の地域から多くの交流を呼び込んでいます。また、歴史文化の担い手も増え、魅力が持続的に継承されるまちになっています。

強みを生かした戦略を展開

- ・人と人とのつながり
- ・心と身体健康
- ・誇りと愛着

戦略1 まちの総合力の強化

これまで紡いできた”つながり”を大切にしながら、地域や個々の枠組みを超えた新たなつながりづくりをすすめることで、皆で支え合うまちの総合力を高めます。

戦略2 ひと・まちの活力の向上

豊かな自然や地形の起伏も生かした心と身体健康づくりや、お互いが個性を尊重し合い、安心感や幸せに包まれた社会づくりをすすめることで、ひと・まちの活力を高めます。

戦略3 誇りや郷土愛の醸成

区の誇れるもの・すばらしさをさらに磨くとともに、知られざる魅力を発掘・発信し、受け継いでいくことで、誇りや郷土愛を醸成します。

3つの戦略のもとで、めざすべき将来像の実現に向け、5つの施策に取り組みます。

施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり

防犯、交通安全、防災など安心・安全・快適なまちの実現に向け「自分の住む地域は自分達で住みよくする」という、地域主体の活動を支援するなど、様々な取り組みを進めます。

施策2 地域・世代を超えてつながるまちづくり

住む地域・世代、日頃の活動分野の垣根を超えた交流とつながりを支援するとともに、公民協働での取り組みを進めます。

施策3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり

誰もが安心感や幸せに包まれ自分らしく輝けるよう支援するとともに、複雑化・複合化する課題解決に向け、地域・行政・関係団体がチームで取り組みを進めます。

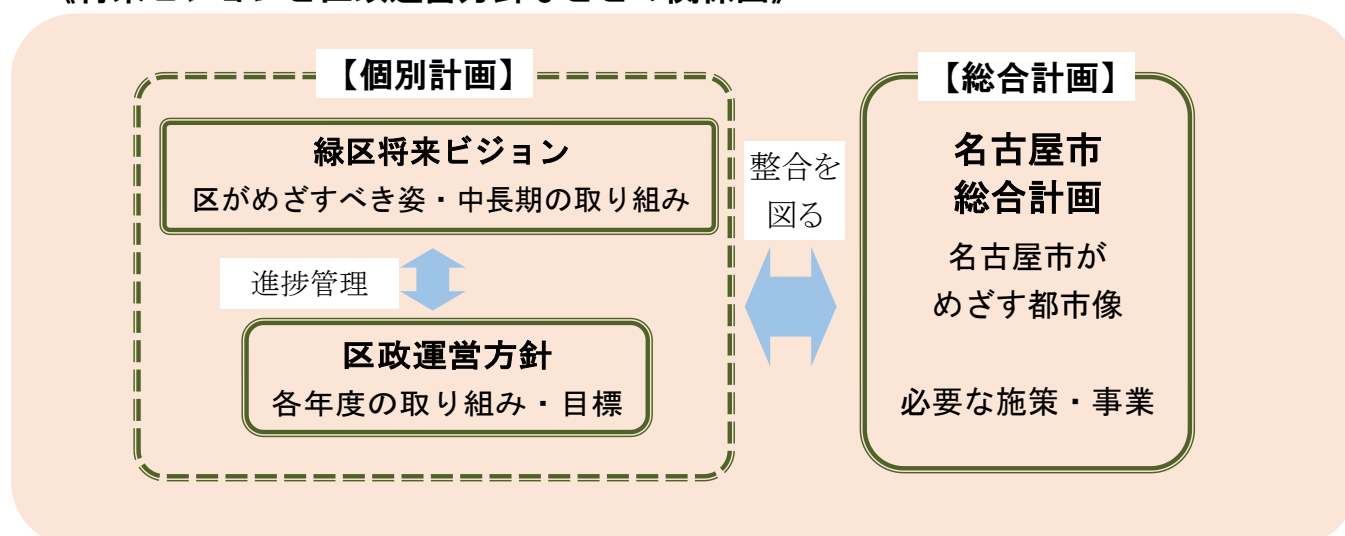
施策4 暮らしの中で健康になれるまちづくり

誰もが心と身体が健康で生きがいを持って生活できるよう、様々な健康づくり、区民のスポーツ・文化芸術の活動を支援します。

施策5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり

区の魅力に愛着や誇りが持て、「ずっと住み続けたい」と思えるよう、地域の魅力の発信を推進していくとともに、大好きな緑区を後世につないでいけるような支援をします。

《将来ビジョンと区政運営方針などとの関係図》



2 令和7年度の取り組み内容

施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり

1 交通安全・防犯の啓発活動や、町を美しくする運動を推進します（地域力推進課）
児童の見守り活動や防犯パトロールなどの地域活動を支援するとともに、警察などの関係機関と連携し地域行事において交通安全・防犯講話などの啓発活動を実施するほか、防犯情報などについて LINE 等の SNS やウェブサイトを活用したタイムリーな発信を行います。また、クリーンキャンペーンや空地・空家の適正管理など町を美しくする運動に関係機関とともに取り組んでまいります。
目標：区民アンケートで、「安心・安全で快適に暮らせるまちと思う」と答えた方の割合 80%（6 年度実績 77.3%）

2 みどり市民病院から犯罪の抑止、生活・安全に関わる啓発を行います（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院、緑警察署）
みどり市民病院が開催する市民向け健康講座等の機会にあわせて、犯罪防止啓発活動を行います。
また、院内において、通常診療の待ち時間に視聴して頂けるデジタルサイネージ（院内情報モニター）を活用するなど各種犯罪防止の啓発にかかる情報提供を行います。
目標：市民向け健康講座等の機会を利用した情報提供回数 3 回（6 年度実績 3 回）

3 火災が発生しにくい環境づくりを推進します（緑消防署）
区民の皆さま一人ひとりの防火意識の高揚を図るため、地域の皆さまと協力して「放火防止パトロール」を行います。また、「住宅防火に関する相談会」を開催し、火災の早期発見に有効な住宅用火災警報器の設置促進に取り組みます。
目標：放火防止パトロールの実施 6 回（6 年度実績 6 回）
住宅防火（住宅用火災警報器の設置・交換）に関する相談会の開催 2 回（6 年度実績 2 回）

4 資源・ごみの分別推進に取り組めます（緑環境事業所）
6 月、11 月の分別マナーアップ推進月間をはじめとした様々な機会をとらえ、資源とごみの分別の徹底を呼びかけ、ごみ減量や再資源化の取り組みを推進します。

5 環境デーなごや 2025 In みどりを開催します（緑生涯学習センター）
環境デーなごや事業の一環として、「生き物」や「食」などをテーマに、環境保全活動をしている方などを講師とし、体験を通して環境の大切さや素晴らしさを学ぶことができる講座を開催します。
目標：参加者アンケートで、「満足した」と答えた方の割合 95%以上（6 年度実績 100%）

6	地域環境イベントを開催します（緑環境事業所）
	ごみ問題や地球温暖化対策などに関心を持ってもらうきっかけづくりとして、6月7日（土）を中心に「地域環境イベント」を開催し、環境問題に主体的に参画する人づくり、人の輪づくりを推進します。
	目標：地域環境イベントの参加者 32 名（6 年度実績 29 名）
7	新規 緑のカーテン教室を開催します（南区公害対策課）
	地球温暖化対策やエネルギーの有効利用などに関心を持ってもらうきっかけづくりとして、5月24日（土）に「緑のカーテン教室」を開催し、環境問題に主体的に参画する人づくりを推進します。
	目標：参加者アンケートで、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 95%以上
8	ペットの適正飼育の普及啓発を行います（保健センター）
	地域との協働により、イエローチョーク作戦を展開し、ふんの持ち帰りを促すとともに、散歩中に排泄させないしつけをさせるなど、飼主のマナーの向上に取り組みます。また、区民の要望や地域の実情に応じて、ペットによる迷惑防止対策を実施します。
	目標：ペットに関する啓発活動 5 回（6 年度実績 7 回）
9	災害時に備え各種防災訓練を実施します（総務課、緑消防署はじめ各公所(署)）
	地震や風水害に備え、各学区の皆様方が、災害を「自分事」と捉え、災害発生初動期の避難所開設時からの的確に対応することができるよう、各種防災訓練を実施することで、地域防災力の強化を図ります。
	目標：訓練参加者アンケートで、「災害時に必要な対応が理解できた」等と答えた方の割合 95%以上（6 年度実績 96%）
10	地区防災カルテの活用等により、地域の防災力（共助力）を強化します（総務課、緑消防署）
	地区防災カルテを活用した地域と区役所との話し合いにより、各学区における防災面を中心とした地域特性について洗い出すとともに、災害時の避難所開設・運営に備えた防災訓練を実施することで、地域防災力の強化を図ります。また、町内会等での自主防災訓練における安否確認等を通じて、共助の仕組みづくりを推進します。
	目標：地区防災カルテを活用した話し合いの実施 全学区（6 年度実績 28 学区）
11	消防団員の確保を支援します（緑消防署）
	地震や風水害に対応できるよう、消防団員の充足率向上を目指し、区民まつりなど各種行事を通じて積極的に募集の広報を行い、消防団員の確保に努めます。
	目標：入団者数 30人（6年度実績 20人）

12 事業所と地域との支援協力体制を推進します（緑消防署）
地震や風水害などの災害時には、事業所と地域の住民との一体的応急活動が必要であり、区内の事業所が所有する建物、土地、資器材などを地域住民の方々が活用できるよう、事業所と地域双方の協力体制の構築を支援します。
目標：支援協力に関する覚書の締結 102 事業所（6 年度実績 97 事業所）
13 災害時の迅速な対応をめざし、名古屋市指定水道工事店協同組合との連携強化を図ります（上下水道局南部営業センター）
災害時に名古屋市指定水道工事店協同組合（名水協）の協力を得ることにより応急給水をはじめとする迅速な対応を図れるよう、防災訓練などを通じて名水協緑支部との連携体制を強化します。
14 緑区防災フェスタを開催します（総務課）
多くの区内防災関係機関の参加により、食料のローリングストックなどの日常的な備えやハザードリスクなど、災害時に役立つ様々な知識を楽しみながら学んでもらうとともに、災害時に活躍する車両の乗車体験もできる防災・減災イベント「緑区防災フェスタ」を区役所において開催します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
目標：防災フェスタに参加したことで、災害に対して「備え」をしようと思った方の割合 100%
15 区内のボランティア団体と連携協力して防災啓発や訓練に取り組みます（総務課）
緑区で活動する名古屋みどり災害ボランティアネットワークや家具転倒防止ボラ緑と連携し、各種防災イベントや発災時に備えた訓練を実施することにより、協力関係の構築に努めながら、地域防災力の向上に取り組みます。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
目標：防災訓練等の行事への参加 5 回以上
16 災害ボランティアセンターの役割を PR します（緑区社会福祉協議会、総務課）
大規模災害発生時に被災者のニーズにあったボランティアを派遣し、被災者の生活に寄り添って復旧・復興に向けた支援を行う「災害ボランティアセンター」の役割について、平常時から知ってもらうよう普及啓発に努めるとともに、避難行動要支援者に配慮された効果的なセンター運営を行うため、センター立ち上げ訓練を行います。
目標：イベントでの PR 活動 3 回 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 1 回（6 年度実績 イベントでの PR 活動 3 回 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 1 回）
17 防災に関する講座を開催します（緑生涯学習センター）
区民の防災意識啓発のため、防災に関する講座を、緑区社会福祉協議会をはじめ関係機関やボランティアグループと連携して開催します。
目標：防災に関する講座等の開催 5 回（6 年度実績 5 回）

18 区民一人ひとりの防災力の向上を図ります（緑消防署）
南海トラフ地震などによる被害は、十分な震災対策を行えば大幅に軽減できるとされています。区民の皆さま一人ひとりに対して家具などの転倒防止や地震火災対策等の啓発、町内会及び自治会単位で結成される自主防災組織に対して安否確認訓練等の自主防災訓練の実施を促進し、事前に備えることの重要性を様々な機会を利用して積極的に啓発します。
目標：各自主防災組織への啓発 22 組織
19 道路・公園の整備をすすめます（緑土木事務所）
機能的な都市活動と安心で安全な市民生活を確保するため、都市計画道路（古鳴海停車場線）及び都市計画墓園（みどりが丘公園）の整備を継続してすすめます。
20 市街地の整備をすすめます（緑都市整備事務所）
鳴海駅前では、駅北部のA・B工区においてみどり市民病院の整備に向け関係機関とともに検討をすすめます。大高駅前では、生活環境の改善と防災性の向上を図るため、土地区画整理事業と大高町線街路事業をすすめます。
21 誰もが安心して利用できる市バスをめざします（交通局緑営業所）
市バスは区民の皆さまにとって通勤、通学、買い物など、日常生活に欠かせない交通手段であり、その機動性を活かして、皆さまが安心してご利用できるよう、安全・安心・快適な運行に努めます。

施策 2 地域・世代を超えてつながるまちづくり

1 緑区区民まつりを開催します（地域力推進課）
区民の皆さまに、緑区への親しみをより深めていただけるよう、ふれあいと交流の場として、10月25日（土）に大高緑地において「緑区区民まつり」を開催します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
目標：来場者アンケートで、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 95%以上（6年度実績 98%）
2 緑生涯学習センターまつりを開催します（緑生涯学習センター）
緑生涯学習センターを利用している自主学習グループの相互交流と日頃の学習成果発表の場として「緑生涯学習センターまつり」を9月～11月の土・日曜日に開催します。グループ活動の周知・活性化を目的として、SNSでの情報配信や「サイネージ」を活用して、まつりの様子が分かる動画の発表をグループと協力しながら実施します。
目標：来場者アンケートで、「満足した」と答えた方の割合 95%以上（6年度実績 99%）
3 徳重地区会館まつりを開催します（徳重地区会館）
地域のボランティア、地区会館利用者の方々にご協力いただきながら、舞台発表や体験教室、ゲーム大会などのイベントを中心とした「第14回地区会館まつり」を開催します。
目標：来場者アンケートで、「よかった」と答えた方の割合 90%以上（6年度実績 87.7%）
4 地区会館における住民参加型自主事業を実施します（徳重地区会館）
あらゆる年代に向けたイベントや講座などを実施します。人気の事業は引き続き開催し、アンケートで得た要望も踏まえながら魅力ある新規事業も展開していきます。
目標：イベントや講座などの開催 10事業以上（6年度実施 11事業）
5 町内会・自治会の加入促進及び魅力発信による、地域力・共助力の向上を促進します（地域力推進課）
町内会・自治会加入促進のため、区役所・支所での加入申込受付（みどりっちポストによる受付）や電子申請システムでの受付をするほか、転入者向けに町内会加入促進チラシを配付します。また、地域活動に関心や興味を持っていただき、参加していただけるよう学区主催の夏祭りのイベントなどを区のホームページやSNS等で積極的に情報発信します。
目標：学区や町内会・自治会の取り組み記事の発信 28回（各学区1回程度以上）
6 子ども会への支援を推進します（民生子ども課）
子ども会の魅力や子ども会と地域の団体等が協働している取り組みを名古屋市ホームページなどで発信するなど、地域で支え合う「子ども会活動」を応援します。
目標：子ども会の連携と情報共有のための会議の開催 月1回以上

7	花・水・緑の公園通り推進事業を促進します（地域力推進課）
	花水緑の会の活動を通じて、花植え・緑化活動を行うとともに、花水緑の会の PR を行い、その活動を支援します。【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：イベントなどでのアンケートで、「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 95%以上（6 年度実績 99%）
8	区民プラザにおける区民活動を支援します（支所）
	地域住民の憩いと集いの場であるユメリア徳重内の区民プラザを安心・安全・快適な空間となるよう、地元ボランティアグループ「みどり区民プラザサポータークラブ」が取り組む施設の案内・見守り活動、季節ごとのイベントの実施、情報誌の発行などを支援します。また、サポーターの新規加入を支援します。【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：サポーターの会員数 10%増加
9	ボランティア団体「なごや竹和会」の竹林整備事業を支援します（みどりが丘公園事務所）
	公園の緑や環境を保全するため、なごやの森づくり活動団体「なごや竹和会」の竹林整備活動、みどりが丘公園会館で開催される各種体験教室（竹材活用講座・園芸教室・竹細工教室など）を支援します。
	目標：竹林整備 9 回 活動紹介展示会 1 回（6 年度実績 竹林整備 9 回、活動紹介展示会 1 回）
10	「みどりが丘公園ララフルール」の花づくりボランティアの育成に取り組みます（みどりが丘公園事務所）
	花づくりのボランティアを育成するため、「なごや花づくりネットワーク」を活用した交流会や講習会を開催するほか、技術スタッフによる日常的なアドバイス、プランターや花壇の草花管理、イベントの企画運営補助などを協働・連携して取り組みます。
	目標：ボランティアの活動回数 35 回（6 年度実績 40 回）
11	区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します（東部・緑農政課）
	新鮮な地元農産物が身近で作られていることを体感してもらい、区内農家との交流を深めていただくため、スタンプラリーを実施します。このほか、区役所での農産物展示販売など地産地消の取り組みを実施します。【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：有効応募件数 800 件（6 年度実績 746 件）
12	新規 地域コミュニティの活性化を推進します（地域力推進課）
	地域コミュニティの活性化を図るため、地域課題を的確に把握し、地域同士の連携や地域団体の課題解決を支援するとともに、地域と企業や学生等の多様な主体が連携・協働する仕組みを構築します。
	目標：地域と企業や学生等との交流会の開催 1 回以上

施策 3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり

1	子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します（民生子ども課、緑区社会福祉協議会、緑児童館） 子どもが豊かに育つ地域づくりをめざして、民生委員・児童委員や NPO と協働し、子どもの遊び場・地域の交流の場として、「プレーパーク」※を区内 4 か所で定期開催します。 ※プレーパーク：子ども自らが「やってみたい」という衝動や好奇心によって、さまざまなことに挑戦し、冒険できる遊び場 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】 目標：大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区、片平地区の 4 地区のプレーパーク（各地区・月 1 回開催）の参加数 合計 2,100 人（6 年度実績 2,376 人）
2	劇場で子ども向け事業を開催します（緑文化小劇場） 子どもたちに文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供するとともに、交流・創造の場を創出するため、子ども向けの公演やワークショップを 4 事業開催します。 目標：来場者アンケートで、「良かった」と答えた方の割合 95%以上（6 年度実績 96%）
3	トワイライトスクール、子育て支援拠点等での出張おはなし会を実施します（緑図書館、徳重図書館） 子どもたちに読書への興味関心や親しみをもってもらうため、トワイライトスクールや子育て支援拠点等において、出張おはなし会を実施します。 目標：出張おはなし会の実施 12 回（6 年度実績 36 回）
4	子ども向けの講座、イベントを実施します（緑生涯学習センター） 子どもたちの学びの場を提供するため、文化・芸術・スポーツ系の講座やイベントを実施します。 目標：子ども向けの講座・イベントの開催 5 講座（6 年度実績 5 講座）
5	児童虐待を防止します（民生子ども課、支所、保健センター、東部児童相談所、なごや子ども応援委員会、緑警察署） 児童虐待を防止するため、学校、保育所、幼稚園、民生委員・児童委員のほか、日頃から児童に接する機会の多い団体などと連携して早期発見・早期対応し、支援を要する児童や家庭への援助や支援体制の強化を図ります。また、5 月及び 11 月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」を始めとする児童虐待防止に関する周知を関係機関・団体との連携やキャンペーンを通して展開していきます。 目標：児童虐待防止にかかる団体などとの情報共有や対応検討の会議の開催 月 1 回以上

6	みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します（民生子ども課、保健センター、緑生涯学習センター、緑児童館） 乳児から中高生の各年代の子を持つ親に向けて、関係機関・団体が連携し、子育てに関する知識の習得や仲間づくり、父親の育児参加の促進など、親が親として育つことを応援する様々な学びの場を企画・開催し、子どもの成長に合わせた子育ての悩みや孤立などの解消に努めます。また、参加いただける機会を増やすため土・日曜日の講座を開催するほか、より深い知識の習得や仲間づくりができるように連続講座を開催します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】 目標：各講座のアンケートで、「参加してよかった」と答えた方の割合 90%以上
7	子どもの発達や障害等でご心配の保護者を支援します（保健センター） 子どもの発達や障害について心配のある保護者が安心して子育てを行うとともに、必要なつながり・サポートを得ることができるようにするため、交流会・学習会を開催するなど、保護者の相談に応じながら支援します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】 目標：発達が心配な幼児の保護者向け「子育て教室」「子育て交流会」の開催 各1回 障害児や医療的ケア児の保護者対象の学習会の開催 1回 障害児や医療的ケアが必要な児童の保護者のグループへの保健師の参加 各グループ1～2回 （6年度実績 発達が心配な保護者向け「子育て交流会」 2回 障害児や医療的ケア児と保護者対象の学習会 1回 障害児や医療的ケアが必要な児童の保護者のグループへの保健師参加：各グループ1～5回、計11回参加）
8	子どもの「不慮の事故」を防止するための啓発を行います（保健センター） 子どもの死因の上位である“不慮の事故”を防止し、その命を守るため、親や周囲の大人が事故のリスクを減らす環境づくり等の啓発を健診や子育てサロン等の機会を利用して実施します。 目標：子育て世帯への啓発 80回以上（6年度実績 112回）
9	住み慣れたまちでいつまでも生活できるための取り組みを推進します（福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター等関係機関） 高齢になっても安心して暮らし続けられるよう、地域のニーズを把握しながら、医療、保健、福祉、介護の関係機関や地域団体と協力して、地域のつながりづくり等の取り組みを推進します。 目標：地域包括ケア推進会議の開催 2回

10	あたたかく見守り、お互いさまの気持ちで支え合える地域づくりをめざします（福祉課、支所、緑区社会福祉協議会） 日頃、地域で見守り活動をしていただいている方々の困りごとの解消やより効果的な活動につながるよう、意見交換会を実施するなど見守り活動を支援します。 目標：見守り活動の意見交換会の実施 1 回（6 年度実績 7 回）
11	老人クラブへの加入促進を支援します（福祉課、支所） 老人クラブへの加入を促進するため、区役所におけるモニター放映、広報なごやでの広報を通じ、魅力や活動を広く周知します。また、老人クラブと一緒に、活動に関心を持ってもらえる方策について検討するとともに、ご加入いただけるような取り組みを実施します。 目標：魅力や活動の周知の機会 5 回
12	「緑区あんしんカード」の活用促進を図ります（福祉課、支所） 緊急連絡先などを記載した「緑区あんしんカード」が、効果的に活用されるよう、新たなカードの検討を進め、活用促進を図ります。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯以外の方にも使えるよう、引き続き、ウェブサイト「緑区あんしんカード」を掲載するほか、区役所、支所等で配布します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
13	認知症になっても支えあって暮らせる地域づくりをめざします（福祉課、支所、保健センター、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会） 認知症への理解を深め、当事者や家族の安心につながる啓発イベントを行うとともに、若い世代を主な対象とした認知症サポーター養成講座の開催場所を増やします。また、認知症当事者や家族等の交流の場である「認知症カフェ」の PR を行い、活動拠点を増やします。 （令和 7 年 3 月現在 認知症サポーター養成講座開催場所 23 か所、認知症カフェ登録数 23 か所） 目標：認知症サポーター養成講座開催場所及び認知症カフェの登録数 各 1 か所増
14	福祉のまちづくりへの取り組みである「第 5 次緑区地域福祉活動計画～みんなでつくる人がつながり支えあうまち緑区～」を推進します。（緑区社会福祉協議会、区役所、支所、保健センター） ボランティアや地域団体、NPO、福祉施設、関係機関、福祉サービス事業者、地域で活躍する方々など多様な人や団体（みんな）と、連携（つながり）・協働（支え合い）して、計画的に地域福祉活動の推進に取り組みます。なかでも地域福祉活動計画の重点的な取り組みの一つ「地域支えあい事業」については、実施学区拡大に向けた、学区地域福祉推進協議会等との協議の場を設けます。 目標：学区地域福祉推進協議会等との協議の場の設置 3 学区

15 人権に関する講座・事業を開催します（緑生涯学習センター、地域力推進課）
価値観や考え方が複雑化・多様化する現代において、一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見がなく、互いの個性を認めあい支えあうまちづくりをすすめていくため、様々な分野の人権問題を、一人ひとりが自らの問題として気づき、学び、行動できるようになるための講座・事業を開催します。
目標：人権に関する講座・事業の開催 6 回（6 年度実績 6 回）
16 多文化共生を推進します（区役所、支所）
窓口での多言語対応のため、タブレットを利用した通訳の実施や、名古屋転入ウェルカムキット※の配布を行い、外国人市民※の方が行政サービスを利用しやすくし、地域社会の一員として暮らせるように支援します。 ※名古屋転入ウェルカムキット：転入してきた外国人市民の方を対象とした、名古屋での暮らしに役立つ情報をひとつにまとめたもの 外国人市民：市内に住所を有する外国籍の人のほか、日本国籍を取得した人や国際結婚によって生まれた子供など、外国の文化を背景に持つ人や外国にルーツを持つ人
17 誰もが利用しやすい図書館の環境づくりに取り組みます（緑・徳重図書館）
言葉によるコミュニケーションに困難のある外国人や障害者との意思疎通を円滑に図るために、カウンターでコミュニケーションボードを活用します。
18 男女共同参画の意識啓発を推進します（地域力推進課）
男女がともにその能力と個性を発揮できる社会の実現をめざし、家庭や地域における男女共同参画を進めることを目的とした講演会を開催するなど、意識啓発を推進します。
目標：男女共同参画に資する講演・講座等の開催 1 回（6 年度実績 1 回）
19 障害のある人が作った製品の販売を支援します（福祉課、支所）
障害への理解促進や就労の支援を行うため、障害のある人が作った製品を販売する「みどり福祉の店」を区役所・支所に設置するほか、ショッピングモールにおける販売フェアを開催します。また、販売機会拡大のため、地域に向けて必要な情報発信を行います。
目標：販売フェアの開催 1 回（6 年度実績 1 回）
20 「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します（福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、緑区障害者基幹相談支援センター）
障害への理解を深めるため、「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催し、誰もが人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現をめざします。
目標：イベント開催 1 回（6 年度実績 1 回）

21 困りごとを抱える世帯への支援体制を強化します（区役所、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター等関係機関）
潜在的に困りごとを抱える世帯の早期発見や支援充実のため、区役所内の相談支援体制の強化を行います。 また、分野別の支援体制では対応しきれないような複雑化・複合化した支援ニーズについては、緑区社会福祉協議会に設置する包括的相談支援チームが中心となり、緑区内の相談支援機関と地域の支援者が協働して支援する重層的支援体制整備事業を推進します。
目標：重層的支援会議の開催 3 回 区連携会議（相談支援機関の連携）の開催 2 回

施策 4 暮らしの中で健康になれるまちづくり

1	健康危機管理事案の発生時対応の普及啓発事業を実施します（保健センター） ひとたび感染症が流行すると重症化のリスクが高いとされる高齢者施設等に対して、平常時だけでなく、災害発生時の感染対策にも対応できるようオンラインを活用した感染症予防講習会を実施します。 目標：感染症予防講習会を緑区内の高齢者施設実会場と Web 会場のハイブリッドで実施 2 回以上 満足度・理解度 80%以上（6 年度実績 実施回数 2 回、満足度・理解度 93%）
2	誰もが取り組める緑区オリジナル「きらきらマン体操」を普及し、運動のきっかけづくりをすすめます（保健センター、福祉課、支所、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会） “子どもから大人までみんなにきらきら輝いてほしい”という思いでつくられた「きらきらマン体操」（緑区オリジナル）の普及を継続し、ちょっとした時間で頭も体も活性化される体操による運動のきっかけづくりをすすめます。 目標：高齢者サロンなどでのきらきらマン体操実施回数 60 回以上（6 年度実績 高齢者サロンなどでのきらきらマン体操実施回数 186 回）
3	市民向け健康講座を実施します（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院） みどり市民病院において、名古屋市立大学と緑区役所との連携協力事項である、福祉・健康・医療等をテーマとした「市民向け健康講座」を開催することにより、予防医療など地域の皆さまの健康づくりを支援します。 目標：実施回数 4 回（6 年度実績 4 回）
4	ポールウォーキング講座をはじめとした様々な運動講座を開催します（保健センター） 緑区ならではの坂道を毎日のエクササイズにできるよう、各学区及び年代に向けたポールウォーキング講座やクアオルト®健康ウォーキングなどを実施します。またウォーキング以外の健康づくりの入り口になるよう、ズンバやストレッチボールなど様々な運動の教室を実施し自分に合った運動が見つけていただける環境を整えます。 目標：参加者アンケートで、「週 1 回以上の頻度で運動・スポーツを実施するつもり」と答えた方の割合 75%以上
5	スポーツ指導者を派遣します（緑スポーツセンター、保健センター） 区民の皆さまが「お得」に「楽しく」健康づくりに取り組める仕組みをつくるとともに、健康に無関心な層も取り込んで区民の健康意識を高めるため、地域や関係機関と連携しながらスポーツ指導者をロコモ予防教室などに派遣します。 目標：実施回数 12 回以上（6 年度実績 25 回）

6	生涯スポーツの振興を図ります（地域力推進課）
	幅広い世代の方が気軽にスポーツに親しみ、継続していくきっかけとなるよう、緑区体育協会等とともに各種スポーツ大会などを開催します。 また、ユニバーサルスポーツに親しむ機会を作り、普及振興を図ります。
	目標：スポーツ大会の総参加者数 3,600 人（6 年度実績 3,062 人）
7	拡充 MIDORI オンステージ・フェスティバルを開催します（地域力推進課、緑文化小劇場、緑生涯学習センター）
	緑区を中心に趣味や生きがいとしてさまざまな文化活動に取り組む皆さまが、日ごろの成果を気軽に発表できる場として、区役所・緑文化小劇場・緑生涯学習センターが連携・協力し、MIDORI オンステージ・フェスティバルを開催します。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
	目標：参加団体数 40 団体
8	緑区民美術展を開催します（地域力推進課）
	区民の皆さまに芸術を身近に感じていただくとともに、日頃創作活動を行っている方にいきいきと目標を持って取り組んでいただけるよう、緑区文化協会と連携して「緑区民美術展」を開催します。
	目標：緑区民美術展の出品者数及び来場者数 700 人

施策 5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり

1	新規・拡充 緑区クアオルト®健康ウォーキングを開催します（地域力推進課） 健康寿命の延伸、観光地としての新たな魅力向上、地域と一体になった運営による人のつながりといった諸要素をオールインワンで実現する、クアオルト®健康ウォーキングをまちづくりの軸として定着・発展させ、「住んで良し、来て良し」の緑区となり得る健康魅力まちづくりをすすめます。 【区の特性に応じたまちづくり事業】 目標：参加者アンケートで「緑区クアオルト®健康ウォーキングに満足」と答えた方の割合 95%以上（6 年度実績 92.6%）
2	緑区ルネッサンスフォーラムの活動を通じて、緑区の歴史的・文化的な魅力を発信します（地域力推進課） 緑区の歴史的・文化的な魅力を発信するとともに、区民の皆さまが地域への愛着を深められるよう、緑区ルネッサンスフォーラムの活動を通じて、幅広い世代が参加しやすい散策会や歴史イベントなどを実施します。【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】 目標：区民アンケートで、「緑区の魅力や歴史・文化で区外の人に紹介したいものがある」と答えた方の割合 55%（6 年度実績 47.8%）
3	新規・拡充 緑区観光推進協議会の活動を通じ、「住んで良し、来て良し」の緑区を実現します（地域力推進課） 区民の力を結集して作られた緑区制 60 周年記念映画「エム 60 ザ・ウォーリア」の活用、クアオルト®健康ウォーキングに美容・食・出会いなどの要素を加えた「美・食・健幸ウォーキング」の実施、若者自身による SNS 等での魅力発信の促進を緑区観光推進協議会により実施し、区民には緑区への愛着と誇りを持っていただくとともに、区外には緑区の魅力を知ってもらうことで「住んで良し、来て良し」の緑区を実現します。 また緑区観光大使「みどりっち」や「世界最速の三味線奏者山口晃司氏」による緑区魅力発信も継続して取り組んでいきます。 【区の特性に応じたまちづくり事業】 目標：緑区公式 SNS の閲覧数 42,000 回（6 年度実績 40,972 回）
4	区の特徴を活かした講座を開催します（緑生涯学習センター） 多くの方々が緑区への関心をより一層高め、愛着や誇りを感じることができるよう、緑区の歴史や文化、自然にちなんだ魅力を学んだり、子育てについての学びやコミュニティづくり、地域のマイスターグループ活動を体験するなど、まちづくりに関わる人が育つ講座を開催します。 目標：緑区の特徴を活かした講座の開催 6 講座（6 年度実績 6 講座）

5 伝統野菜である「大高菜」及び「徳重だいこん」の普及を図ります（東部・緑農政課）
あいちの伝統野菜である「大高菜」及び「徳重だいこん」の種蒔きや収穫などの栽培体験を通じて、子どもたちに身近に感じてもらいます。また、大高菜の種子を市民へ配布、区内すべての小中学校にあっせんします。
目標：大高菜の種子配布 1,000 人（6 年度実績 1,000 人）

区政運営の推進にあたって

区民に最も身近な行政機関として、快適で、区民の皆さまに満足していただける区役所を目指します。

1 幅広い区民ニーズの把握と区政への反映に取り組みます（区役所、支所）
より幅広い区民の視点からまちづくりを進め、緑区に愛着を持っていただけるように、区民の意識やニーズを的確に把握し、区政運営への反映に努めるとともに、区民が区政に参画し協働しやすい環境づくりを推進するため、区民アンケートや緑区区民会議のほか、若い世代なども参加しやすいワークショップの実施等により意見聴取に努めます。 【自主的・主体的な区政運営予算活用事業】
目標：区民アンケートで、緑区での暮らしについて「満足」「おおむね満足」と答えた方の割合 77%（6年度実績 75.6%）

2 ご満足いただけるような窓口サービスと利便性の高い行政サービスを提供します （区役所、支所）
フロアサービスによる窓口案内や「おくやみコーナー」※の設置、オリジナル誕生祝いカードの配付など、来庁者の方に寄り添い、ご満足いただける窓口サービスに努めます。 また、区民サービスのさらなる向上を目指し、スマート窓口の実現に向けて DX を推進していきます。 ※おくやみコーナー：亡くなられた後の区役所・支所における手続きについて、ご案内と各種申請書作成のお手伝いを行います。

3 親しみやすい広報に努めます（地域力推進課、企画経理課）
区民の皆さまにお知らせすべき情報を迅速に届け、また知りたい情報にスムーズにアクセスできるよう、広報なごや、区公式ウェブサイト、SNS など様々な広報媒体を用い、多様な情報発信に努めます。 また、区政全般に関心を高めてもらえるよう、イラスト等も活用し見やすく気軽にアクセスできる親しみやすい広報に努めます。
目標：区民アンケートで、「区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う」と答えた方の割合 45%（6年度実績 33%）

4 職員の人材育成を図ります（総務課）
職務の使命や理念などを明確化し、モチベーションを高く職務を遂行できるよう「緑区人材育成ポリシー」を策定し、適正な事務執行や服務規律の保持はもとより、区民の皆さまに満足いただけるような区民サービスを提供できる職員を育成します。 ※「緑区人材育成ポリシー」：緑区役所の使命として、『縁をつなぎ、笑顔あふれる緑区に』を掲げ、①仲間を大切にする、②タテとヨコの繋がりを意識する、③リーダーシップを発揮する、を人材育成の重点方針としています。
目標：研修等の参加者に対するアンケートで、満足度の評価が平均 4 以上（5 段階評価）

参考

《各将来像に掲げる成果指標》

取り組みの成果をはかるために成果指標と目標値を設定しました。成果指標の数値は毎年把握をし、各年度の区政運営方針にて進捗管理を行ってまいります。

将来像 1 安心・安全で快適に暮らせるまち

将来像 1 の成果指標	令和 6 年度 の現状値	目標値 令和 10 年度
犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	77.3%	86%
家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	65.9%	100%
地域活動やボランティア・NPO活動に参加している人の割合	43.9%	48%



将来像 2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

将来像 2 の成果指標	令和 6 年度 の現状値	目標値 令和 10 年度
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	80.6%	90%
高齢者にとって住みやすいまちだと思ふ人の割合	66.3%	75%
障害者が安心して暮らしやすいまちだと思ふ人の割合	51.3%	60%
健康づくりや生きがいづくりのために、自主的に、健康・スポーツ・文化・学習活動に取り組んでいる人の割合	50.7%	55%



将来像 3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

将来像 3 の成果指標	令和 6 年度 の現状値	目標値 令和 10 年度
緑区の魅力、歴史・文化を区外の人に紹介したいと思ふ人の割合	47.8%	65%
マスコットキャラクター「みどりっち」の認知度	70.4%	70%



《令和7年度予算執行計画》

○自主的・主体的な区政運営予算執行計画

区役所が自主性・主体性を発揮した取り組みを行うための予算として、人口規模等を勘案して、10,997,000円が緑区に配当されました。その執行計画は次のとおりです。

施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり	金額 314,000円
・緑区防災フェスタを開催します ・区内のボランティア団体と連携協力して防災啓発や訓練に取り組みます	
施策2 地域・世代を超えてつながるまちづくり	金額 7,204,000円
・緑区区民まつりを開催します ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します ・区民プラザにおける区民活動を支援します ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します	
施策3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり	金額 2,099,000円
・子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します ・子どもの発達や障害等でご心配の保護者を支援します ・「緑区あんしんカード」の活用促進を図ります	
施策4 暮らしの中で健康になれるまちづくり	金額 340,000円
・MIDORIオンステージ・フェスティバルを開催します	
施策5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり	金額 380,000円
・緑区ルネッサンスフォーラムの活動を通じて、緑区の歴史的・文化的な魅力を発信します	
区政運営の推進にあたって	金額 660,000円
・幅広い区民ニーズの把握と区政への反映に取り組みます	
合計 10,997,000円	

○区の特性に応じたまちづくり事業予算執行計画

区役所が区の特性に応じた取り組みを行うための予算として、11,367,000円が緑区に配当されました。その執行計画は次のとおりです。

金額 11,367,000円

- ・緑区クアオルト®健康ウォーキング
- ・緑区魅力発信事業2025

《令和6年度予算執行実績》

○自主的・主体的な区政運営予算執行実績

施策1 地域を主体とした住みよいまちづくり	金額 249,168円
・緑区防災フェスタを開催します ・区内のボランティア団体と連携協力して防災啓発や訓練に取り組みます	
施策2 地域・世代を超えてつながるまちづくり	金額 6,513,726円
・緑区区民まつりを開催します ・町内会・自治会への加入を促進します ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します ・区民プラザにおける区民活動を支援します ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します	
施策3 誰もが自分らしく輝けるまちづくり	金額 2,270,438円
・子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します ・子どもの発達や障害等でご心配の保護者を支援します ・「緑区あんしんカード」の活用を周知します	
施策4 暮らしの中で健康になれるまちづくり	金額 143,360円
・健康危機管理事案発生時対応の普及啓発事業を実施します ・ポールウォーキング及びクアオルト®健康ウォーキングを通じた健康づくりを推進します	
施策5 地域の魅力を誇りに思えるまちづくり	金額 560,000円
・歴史文化交流支援事業を推進します ・緑区の魅力を発信します	
区政運営の推進にあたって	金額 574,512円
・幅広い区民ニーズの把握と区政への反映に取り組みます	
合計 10,311,204円	

○特性に応じたまちづくり事業予算執行実績

金額 13,624,838円

（うち区まちづくり基金活用額 1,240,000円）

・次世代観光まちづくり事業 クアオルト®健康ウォーキング ・緑区魅力発信事業2024 ・子育て支援事業の紹介動画の作成
